

## 平成22年度 第2回地域包括支援センター専門委員会 会議要旨

### 1 開催日時

平成22年10月13日(水) 18:30~20:00

### 2 開催場所

北九州市役所 91会議室

### 3 出席者等

#### (1) 委員

中村委員長、今村委員、井手委員、河原委員、白木委員、橋元委員  
舟谷委員、渡邊委員  
欠席者 小川委員

#### (2) 事務局

いのちをつなぐネットワーク推進課長、ほか

### 4 会議内容

#### (1) 議題

- ア 地域包括支援センターの評価指標の設定について
- イ 地域包括支援センターの成果・課題の要因

#### (2) その他(情報提供)

介護予防ケアプランとホームヘルプサービスの生活機能向上促進モデル事業について

### 5 議事の概要

#### (1) 議題

##### ア 地域包括支援センターの評価指標の設定について

高齢者の保健医療福祉の総合相談窓口として設置された地域包括支援センターの果たすべき役割について評価するために、現在、評価として活用している「自己点検」を加えた評価指標の提案が事務局よりあった。また新しく加える評価方法として、福岡県が実施する「ケアプランチェックアドバイザー派遣事業」にて予防ケアプランの点検を行う予定であることの説明があった。

#### 【委員意見】

- ・予防ケアプランチェックには厚生労働省の「ケアプラン点検支援マニュアル」を利用することだった。北九州市は独自にケアプラン評価票を作成しており、この評価票はプラン作成における各過程で必要な業務が行われているかを評価するもので、評価される側も視覚的に分かりやすいものとなっている。よって予防ケアプランに対しても、予防用ケアプラン評価票などを作成して、導入していくことが良いのではないか。

(事務局)現時点では予防ケアプランチェックの評価方法がないため、「ケアプランチェックアドバイザー派遣事業」によって得られた視点をもとに、評価方法など整理していく予定である。

- ・自己点検表だが、過去の課題・達成度についても明示されているが、その内容分析をしてほしい。分析の手法などは、今後検討が必要と思う。
- ・評価の手続きなど、事務局にて整理・検討をお願いしたい。

#### イ 地域包括支援センターの成果・課題の要因

第1回専門委員会における委員からの意見を受け、事務局が整理したものについて説明を受け、意見交換を行った。

#### 【委員意見】

- ・地域包括支援センターを委託し運営を行っている政令指定都市の意見だが、その短所に「公平・中立性の確保の難しさ」という点が挙がっている。直営方式の北九州市では公平・中立性が保たれている点で良いと思う。
- ・委託方式の地域包括支援センターでは、権利擁護への対応が弱いとよく聞く。直営方式の北九州市では、虐待事例への素早い対応やノウハウを持っている点が評価される。出向元の職員の質の確保も大事であろう。
- ・大事な業務が多い地域包括支援センターだが、業務が多いために本来の業務が難しくなっているのではないか。
- ・地域包括支援センターの役割を明確にすべきではないか。業務量を減らすためにも、業務内容を整理する必要があると思う。
- ・直営方式で地域包括支援センターを運営する長所・短所を整理してはどうか。
- ・地域包括支援センターの目標や機能などを整理して、北九州市が何に焦点を当てていくのか明確にし、また効率的に運営するために人材やネットワークをどのように整備するのか、次回以降議論を行っていきたい。  
(事務局) 専門委員会ではこれまで様々なご意見をいただいているため、次回の委員会においては、課題解決のための具体的な方法について議論いただきたい。

#### (2) その他

介護予防ケアプランとホームヘルプサービスの生活機能向上促進モデル事業について、事務局より説明を受けた。